



たかずやの里通信

令和8年度 - 第1号 -

…発行日…
令和8年6月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里
伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607
ホームページ QRコード⇒
URL <https://www.takazuya.or.jp/>



今年度もたかずやの里をよろしくお願いたします。

太鼓クラブの紹介

私たちは太鼓や踊りが好きな子どもたちと職員
の有志で活動しており、毎月伊那市富県にある
歌舞劇団田楽座さんにご指導をいただき、太鼓演
奏を楽しんでいます。

「ぶち合わせ太鼓」という演目をメインでやって
おりますが、花笠音頭やソーラン節もします。
言葉だけではなくアイコンタクトを交わし、息を
合わせて心が一つになる瞬間がとても幸せです。



りんごユニットの紹介

たかずやの里は、7つのユニットに分かれて子
どもたちが生活をしています。

りんごユニットは、小学生から高校生までの子
どもたちが生活しているユニットです。

外で身体を動かしたり、パソコンやテレビを観る
ことが好きな子どもたちで、楽しいことを励みに
毎日の学校や勉強に取り組んでいます。

これから夏に向けて畑で野菜を植えます。みんな
で畑の作業をして、美味しい野菜が収穫できること
を楽しみにしています！



ボランティア紹介 -絵本の読み聞かせ-



様々なボランティアの方にご協力いただいている中で、矢口芙美子さんには
長年子どもたちのために絵本の読み聞かせを続けていただいています。2歳の子
から小学校低学年までの子どもたちに、毎週異なる絵本を持ってきて読み聞かせ
をしてくださっています。子どもたちはお話の世界に引き込まれて楽しんでいま
す。子どもたちの成長とともに温かい思い出として心に残ってくれているとうれ
しいですね。



たかずやの里（児童養護施設）働く職員の採用について

たかずやの里では現在、職員を募集しております。募集職種は保育士、児童指導員、心理士
です。保育士と児童指導員は、入所児童の成長、発達に応じて保育、生活支援全般を担当し
ます。日々の生活支援の記録、各種会議、行事などの参加もあります。心理士と共に施設
で生活している子どもたちに寄り添い、主に子どもたちの抱えている様々な気持ちを理解
し、心の問題についても支援します。また、ホームページもありますのでぜひご覧ください
。採用に関する詳細は相談・応募時にご確認ください。



施設紹介動画をご覧ください。

<https://takazuyanosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

QRコード ⇒





変わりゆく景色

たかずやの里の東側の景色が変わり始めています。用地の造成工事が終わり、工場の建設工事も始まり、関連道路も整備されました。これから車の交通量が増えることになるかと思いますが、この場所に子どもたちが住んでいる児童養護施設たかずやの里があることを地域の皆様にご存知いただくと幸いです。



交流館

たかずやの里交流館は、地域の方々の健康増進に貢献できるよう一般開放をしています。広さは、学校体育館の三分の一ほどで、太極拳・筋力トレーニング・剣道・ダンスなどの団体にご利用いただいております。

利用料は、1回200円の照明代と、冬期の暖房費です。ご利用前に、団体登録と、利用時間の予約が必要です。どうぞお気軽にお問合せください。



性教育への取り組み

たかずやの里では、子どもたちが健やかに成長できるよう、日々の生活の中で「性教育」に取り組んでいます。「性教育」と聞くと少し難しく感じるかもしれませんが、私たちの考える第一歩は、自分自身の体や心を大切にすることです。

4月には「清潔」「身だしなみ」「トイレ」「便」をテーマに、未就学児から高校生まで、それぞれの成長段階に合わせて職員と一緒に学びました。

例えば、小学2年生の男の子は職員と一緒に、丁寧な手洗いや歯磨き、鼻をかむ練習をしました。鼻がすっきりかめると「気持ちいいね！」と笑顔がこぼれます。また、ハンカチやティッシュを忘れずに持てるよう、イラストを貼って工夫したり、次に使う人のことを考えてトイレのスリッパを揃えたり。こうした身の回りの小さな「できた！」を積み重ねることが、自分を慈しみ、他者を思いやる心へとつながっていきます。一度で終わらせず、日々の暮らしの中で繰り返し丁寧に向き合うことで、子どもたちの行動にも少しずつ変化が見られるようになりました。これからも、子どもたちの「やる気」に寄り添いながら、家庭的な温かさの中で一緒に学んでいきたいと考えています。



トイレの順番が書いてあるよ



「こどもの日」に思うこと

5月5日の「こどもの日」を迎えると、毎年、子どもの人口に関する統計が報道されます。今年は、全国の15歳未満の子どもの数が、前年より35万人減少したと伝えられました。

伊那市の令和8年4月1日現在の統計によると、0歳児は326人、小学校入学にあたる6歳児は500人となっています。市内には小学校が15校ありますので、単純に計算すると、今年の1校あたりの入学児童数は平均で約33人です。これが6年後、現在の0歳児が入学する頃には、1校あたり約22人まで減少する見込みとなります。

このように、子どもの数の減少は、私たちの地域においても確実に進んでいます。

一方、報道番組では、20代から30代の女性へのインタビューが紹介され、出産や教育にかかる費用の負担、仕事と子育ての両立の難しさなどが語られていました。

子どもを産み育てることに安心を感じられる社会であるために、出産から教育までを切れ目なく支える仕組みの充実が、これまで以上に求められていると感じます。

たかずやの里としても、地域の中で子育てを支える一助となれるよう取り組んでまいります。

施設長 菅 雄峰